

# 香りつき製品との上手な付き合い方

## ～香り・ニオイと上手に付き合うために～

香料は化粧品や石けんの他にも、洗たく用洗剤、柔軟仕上げ剤（以下、柔軟剤という）、芳香剤など私たちの日常生活に身近な製品に多く使われています。香料には天然の花、果実、葉などから抽出する「天然香料」と化学合成で作られる「合成香料」、そしてこれらを混ぜて作る「調合香料」があります。現在、さまざまな製品に使用されている香料の大半は「合成香料」です。

### 洗たく用洗剤

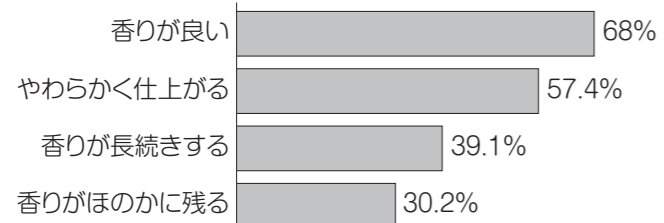
洗たく用洗剤（粉末・液体）の香りは、ナチュラル・フレッシュ・ピュアなどの言葉で製品のイメージアップのために香りを表し、実際に花の香りが使われているわけではありません。家庭用品品質表示法には香料の表示義務がないため、あくまでもイメージアップに香りの表現が使われています。

### 柔軟剤

柔軟剤を使用する本来の目的は、衣料品の繊維を柔らかくふっくらさせたり、繊維同士の摩擦を減らして静電気の発生を防いだりすることです。洗たく中のからまりを防いで洗たくジワを減らし、花粉をつきにくくしたり、毛玉をできにくくしたりする効果もあります。

日本石鹼工業会が実施した「洗濯実感調査」では、下表のように香りに関する回答が多く寄せられています。（日本石鹼洗剤工業会HPより）

〈柔軟剤の購入理由（上位回答）〉



このことから、本来の効果だけでなく、香りが商品選択の重要な要素になっていることがわかります。

### 消臭剤・芳香剤

衛生観念の高まりから、消臭剤・芳香剤の市場が拡大しています。生活臭、家のニオイ、衣類やペットなど気になるニオイを消す消臭剤は、ニオイのもととなる成分を包み込んで無臭状態にする、化学反応させ無臭成分にする、バクテリアなどの繁殖で悪臭を消す、悪臭を芳香成分で包み込む、吸着させるなど、さまざまな方法で消臭できると言われています。

ニオイは空気よりも重い成分のものが多く、消臭剤は足元などの低い位置、悪臭源の近く、空気がよどみやすい場所に置くと効果的です。

また、芳香剤は果物、花、樹木などのニオイで悪臭が気にならないように香りを付ける嗜好品で、エアコンや窓の近くなど風上になる場所に置くと、広い範囲に香りを行き渡らせることができます。



全国の消費生活センターには、柔軟剤のニオイに関する相談が増加しています。（2008年度に14件だったものが2014年度には167件）

本人や家族の危害や事故の相談だけでなく、隣人など他人の使用に対する苦情相談も寄せられています。

特に春から秋にかけて、湿気や汗を気にする人が多くなり、相談が増える傾向があります。

### こんなトラブル気を付けて！

#### 【事例1 ニオイがきつく、気分が悪い！】

便利だと思い、洗たく用パック型液体洗剤を購入した。ニオイが思った以上にきつく、パックをつまみあげた際に手にニオイが付いて取れない。気分が悪い。

#### 【事例2 ニオイが気になり、窓が開けられない！】

マンションの隣家がベランダに干す洗たく物の洗剤や柔軟剤のニオイで気分が悪くなったり、頭痛がする。体に悪い成分が使用されているのではないかと？

#### 【事例3 ニオイをかぐと息苦しくなる！】

洗たく用洗剤や柔軟剤のニオイをかぐと鼓動が早くなって息苦しくなる。医師の診断では「治療用の薬は無く、ニオイを遠ざけるしかない。」と言われた。自分では無香料の製品を選んで使っているが、ニオイのある衣服を着ている人が街中にいるので避けられない。

#### 【事例4 洗たく用パック型液体洗剤が子どもの目に入った！】

3歳の子どもの手が握って遊んでるうちに破裂して液が目の中に入った。

#### 【事例5 間違えて食べちゃった！】

形や色がお菓子に似ていることから、認知症の母が食品と間違えて食べてしまった。



### めくニャンからのアドバイス

#### ◎ 製品の香りを事前にチェック! ◎

香り、ニオイに敏感な場合は、商品を購入・使用する前に表示等に記載された芳香の強さや種類を参考にしましょう。

#### ◎ 柔軟剤の使い過ぎで効果が下がる?! ◎

目安量より多く使うと香りが強く感じられますが、使用量を多くすればするほど、衣類が柔らかくなるわけではありません。繊維の表面の水をはじく度合いが高まって、タオルやシャツなどの吸水性が低下します。

#### ◎ 洗剤と柔軟剤は同時に使わない! ◎

混ぜて使ったり、同時に使用するとお互いの効果を打ち消し合うので注意が必要です。

#### ◎ 消臭剤の使い過ぎに気をつけましょう! ◎

20種類以上もある消臭成分は家庭用品品質表示法による表示義務がなく、消臭方法も分かりにくいのが現状です。使い過ぎには十分気をつけましょう。

#### ◎ 保管場所に注意しましょう! ◎

形や色が食べものに似ていることから、乳幼児や高齢者が食品と間違えることがあります。保管場所には十分注意しましょう。

自分にとって快適な香りでも、ニオイの感じ方は個人差が大きく、人それぞれです。製品の品質に問題がなくても人によって快・不快は異なり、ニオイと体調不良との因果関係を証明することは困難です。

周囲への配慮を忘れずに、自分にあった香り付き製品を楽しみましょう。

#### （ご相談なら）

- ・目黒区消費生活センター……………☎03-3711-1140
- （誤飲・誤食の場合は）
- ・日本中毒情報センター 中毒110番……………☎029-852-9999
- ・小児救急電話相談……………☎#8000

#### （その他 参考URL）

- ・日本石鹼洗剤工業会 <http://www.jsda.org/>
- ・におい・かおり環境協会 <http://orea.or.jp/>